

# 楽<sup>2</sup>ライブラリ パーソナル スタートアップガイド

このスタートアップガイドは、楽<sup>2</sup>ライブラリのインストール方法、基本的な操作方法について説明しています。

楽<sup>2</sup>ライブラリの応用的な機能について知りたいときは、ヘルプまたは「ユーザーズガイド」を参照してください。

楽<sup>2</sup>ライブラリのエクスポート機能によって生成された「ビューア付きデータファイル (\*.exe)」は、個人的な範囲を超える使用目的で、無断で複製・転用、およびネットワークを通じて配信することは禁止されています。



a Fujitsu company

# インストールする ①

インストールは、楽<sup>2</sup>ライブラリのインストールと、楽<sup>2</sup>ビューア（ビューア画面）のインストールの2ステップあります。

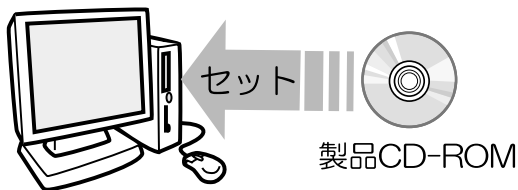
楽<sup>2</sup>ライブラリをインストールしたあと、続けて、楽<sup>2</sup>ビューアをインストールします。



- インストールする前に、すべてのアプリケーションを終了してください。
- 旧版の楽<sup>2</sup>ライブラリをお使いのお客様は、インストールする前に、アンインストールする必要があります。詳細は、「ユーザズガイド」を参照してください。

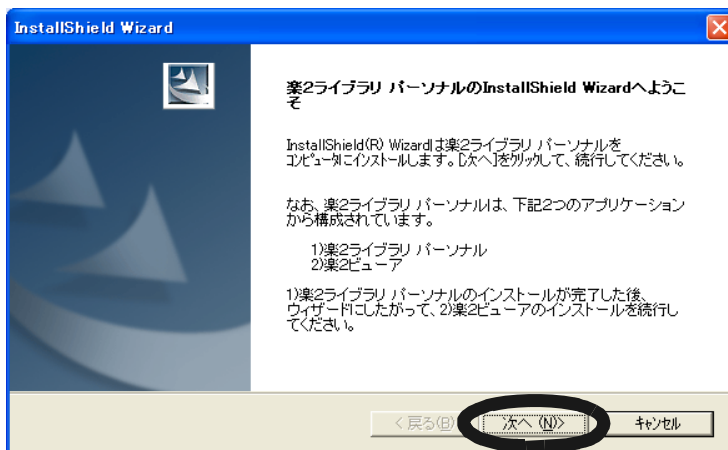


## 1. 製品 CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットします。



インストールを開始する画面が表示されます。

## 2. [次へ] ボタンをクリックします。



## 3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。

楽<sup>2</sup>ライブラリのインストールが完了すると、「InstallShield Wizard」の画面が表示されます。

## 4. [完了] ボタンをクリックします。

楽<sup>2</sup>ビューアをインストールするかどうかのメッセージが表示されます。




# 楽<sup>2</sup>ライブラリを起動する

楽<sup>2</sup>ライブラリを起動します。

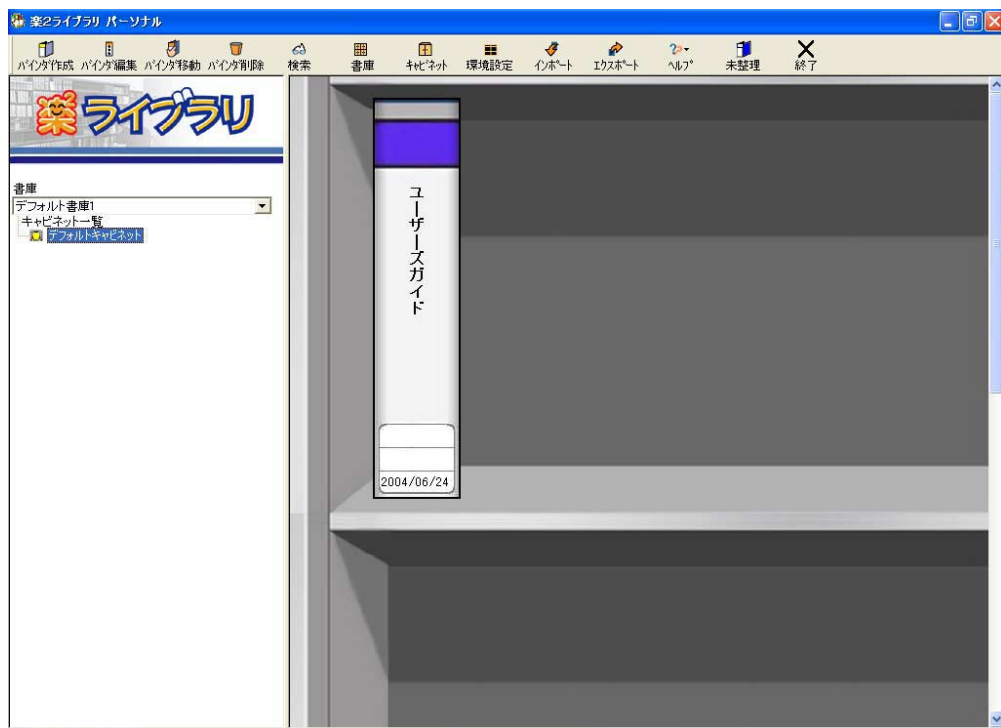


Windows<sup>®</sup> 2000 または Windows<sup>®</sup> XP の場合、楽<sup>2</sup>ライブラリを起動するには Power Users 権限以上のアカウントでログオンする必要があります。



1. デスクトップ上に作成された楽<sup>2</sup>ライブラリのプログラムアイコン(  ) をダブルクリックします。

楽<sup>2</sup>ライブラリの画面( バインダ管理画面 ) が表示されます。



# データの入れ物を準備する ①


楽<sup>2</sup>ライブラリを使うには、まず、データを管理するための入れ物（「書庫」「キャビネット」「バインダ」）を作成する必要があります。書庫の中にキャビネットを作成し、キャビネットの中にバインダを作成します。

- 書庫は最大 6 個作成できます。
- 1 つの書庫の中に、最大 20 個のキャビネットを作成できます。
- 1 つのキャビネットの中に最大 21 個のバインダを作成できます。
- 1 個のバインダで最大 500 ページ管理できます。
- 書庫、キャビネット、バインダには、それぞれ任意の名前を設定できます。

## 書庫を作成する

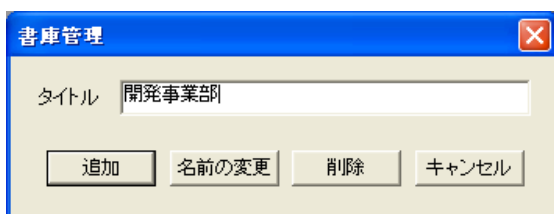
キャビネットを管理するための書庫を作成します。



1.  をクリックします。

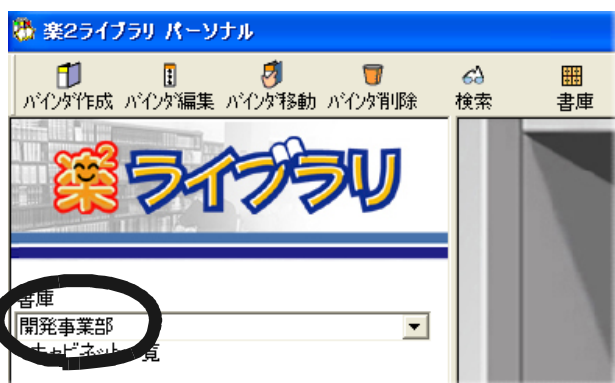
[ 書庫管理 ] ダイアログボックスが表示されます。

2. 作成する書庫の名前を全角 20 文字（半角 40 文字）以内で入力します。



3. [ 追加 ] ボタンをクリックします。

書庫が作成されます。




次に、作成した書庫の中に、キャビネットを作成しましょう！

# データの入れ物を準備する ②

## キャビネットを作成する

①で作成した書庫の中に、キャビネットを作成します。

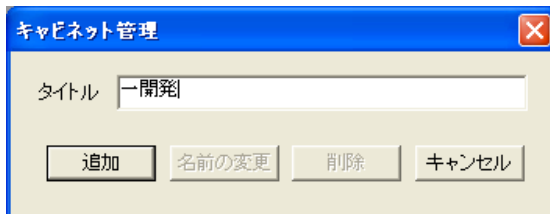


1.  をクリックします。

キャビネット

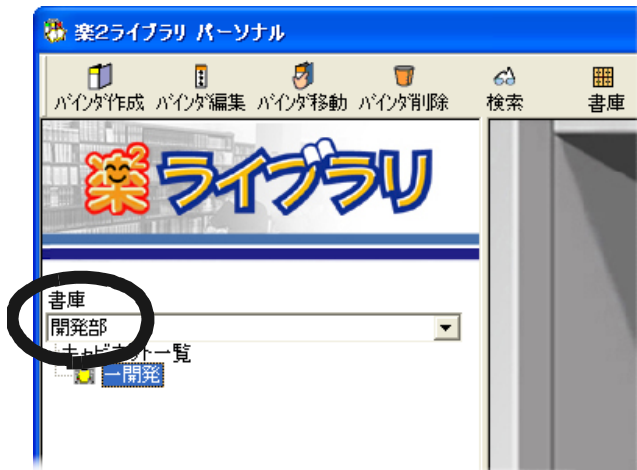
[キャビネット管理] ダイアログボックスが表示されます。

2. キャビネットの名前を全角 16 文字 (半角 32 文字) 以内で入力します。



3. [追加] ボタンをクリックします。

書庫にキャビネットが作成されます。




次に、作成したキャビネットの中に、バインダを作成しましょう！

# データの入れ物を準備する ③

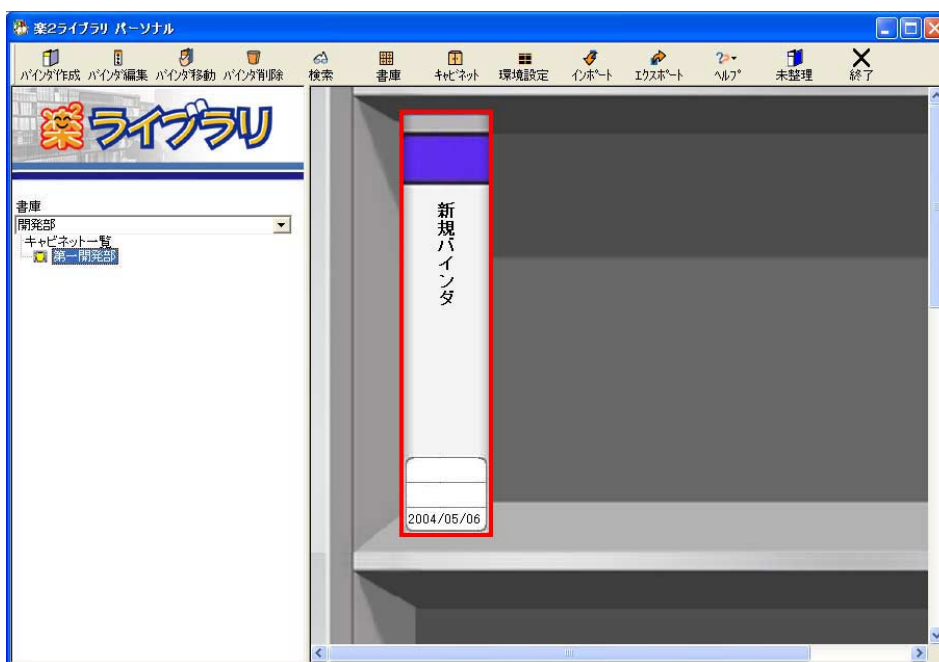
## バインダを作成する

②で作成したキャビネットの中に、バインダを作成します。



1.  **バインダ作成** をクリックします。

キャビネットに、バインダが作成されます。



- 新規作成したバインダは、「新規バインダ」という名前（タイトル）になっています。
- 日付は、新規作成した日付が自動的に設定されます。

次に、バインダの名前（タイトル）や日付などを変更しましょう！

# データの入れ物を準備する ④

## バイндаを編集する

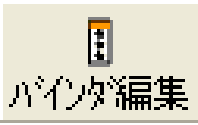
③で作成したバイндаに対して、名前（タイトル）や日付を変更します。



1. バィнда（新規バイнда）を選択します。



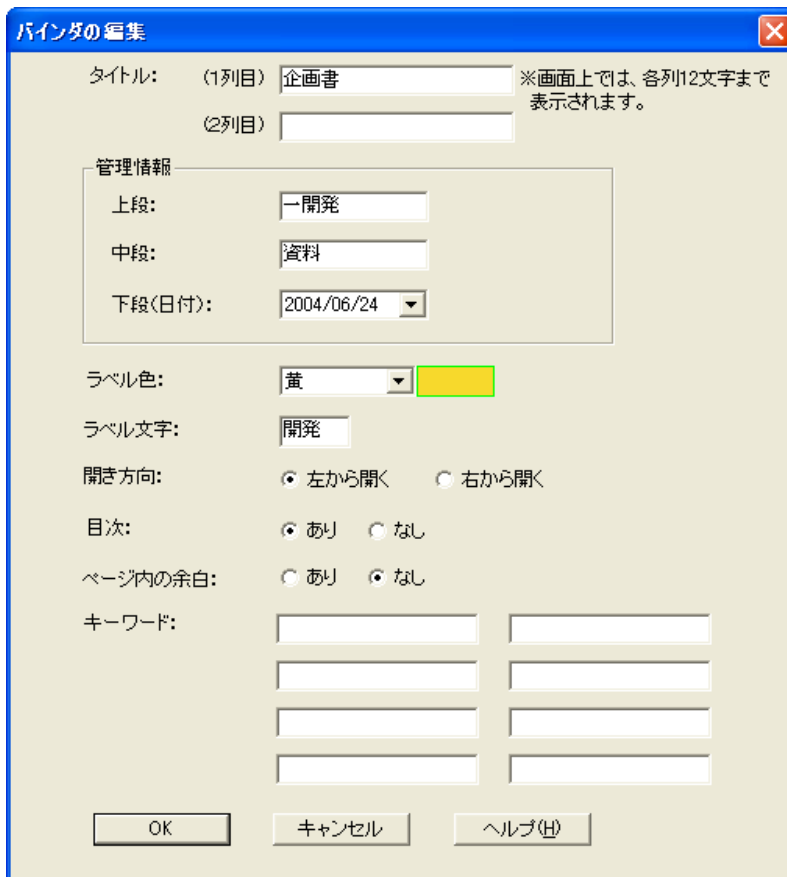
- バィндаの背表紙をクリックすると、バイндаが選択されます。
- バィндаを選択すると、バイндаが赤い枠で囲まれます。

2.  をクリックします。

[バイндаの編集] ダイアログボックスが表示されます。

3. 各項目を設定します。

ここでは、以下のような情報を設定してみます。



バィндаの編集

タイトル: (1列目) 企画書 ※画面上では、各列12文字まで表示されます。  
(2列目)

管理情報

上段: 一開発  
中段: 資料  
下段(日付): 2004/06/24

ラベル色: 黄  
ラベル文字: 開発  
開き方向:  左から開く  右から開く  
目次:  あり  なし  
ページ内の余白:  あり  なし  
キーワード:

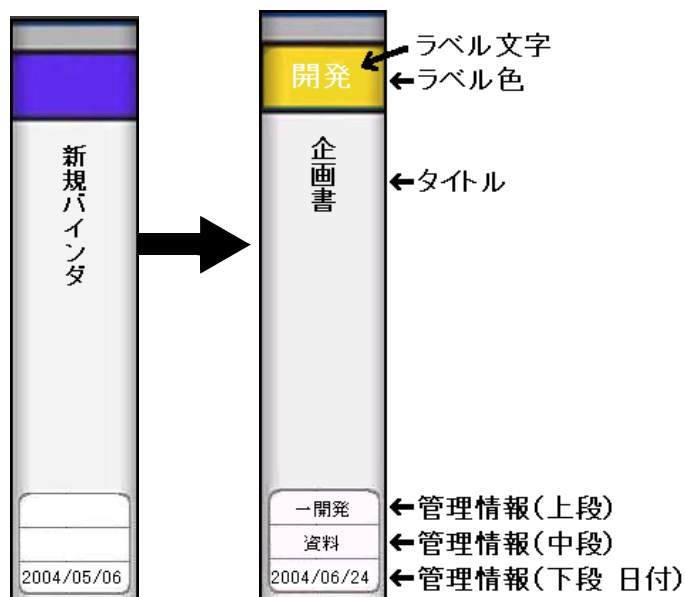
OK キャンセル ヘルプ(H)



# データの入れ物を準備する ⑤

## 4. [OK] ボタンをクリックします。

設定内容に従って、バインダが編集されます。



これで、データを格納するためのバインダが準備できました。

次に、作成したバインダの中にデータを格納してみましょう。

- 電子データを取り込む場合は、「Word のデータを取り込む」(10 ページ)に進んでください。
- ScanSnap で原稿をスキャンして読み取る場合は、「ScanSnap から原稿を読み取る」(11 ページ)に進んでください。




ヒント ScanSnap 以外の TWAIN 対応のスキャナで原稿をスキャンして読み取る場合については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

# Word のデータを取り込む

パソコン上のフォルダからファイルを取り込んで、バインダに追加します。

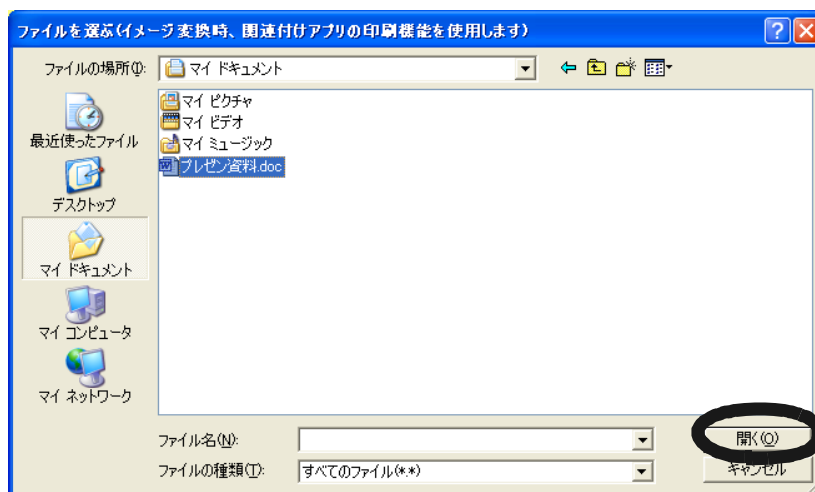


1. 9 ページで作成したバインダ（企画書）をダブルクリックして、ビューア画面を表示します。

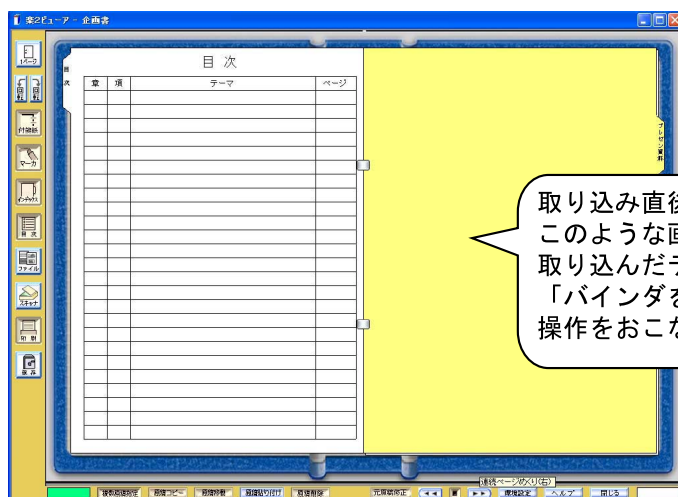
2. ビューア画面の  をクリックします。

[ファイルを選ぶ] ダイアログボックスが表示されます。

3. 取り込む Word データを指定して、[開く] ボタンをクリックします。



取り込んだ Word データがバインダに追加されます。



取り込み直後は、  
このような画面が表示されます。  
取り込んだデータの中身を見る場合は、  
「バインダを閲覧する」（14ページ）の  
操作をおこないます。

続けて別の Word データを取り込む場合、手順「2.」～「3.」を繰り返します。  
この場合、現在表示されているページの前にデータが取り込まれます。

# ScanSnap から原稿を読み取る ①

ScanSnap ( fi-5110EOX、fi-4110EOX2、fi-4110EOX3 ) を使用して原稿を読み取って、バインダに追加します。

## 楽<sup>2</sup>ライブラリと ScanSnap を連携する

ScanSnap で原稿を読み取る場合、まず、楽<sup>2</sup>ライブラリと ScanSnap を連携するための準備が必要になります。

この操作は、一度おこなえば、次回以降は不要です。



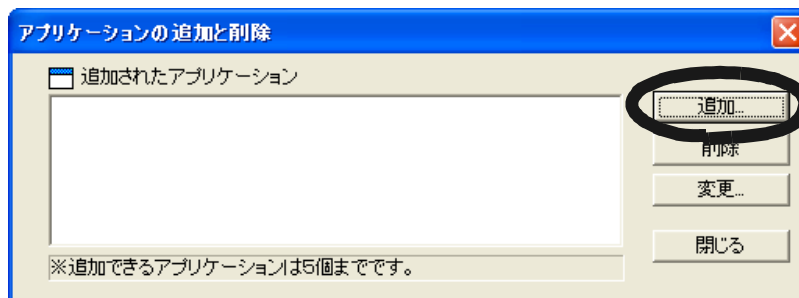
- fi-5110EOX をご使用の場合、手順「1.」～手順「7.」の操作は不要です。ScanSnap Manager の設定画面で、手順「8.」（表示名は「楽<sup>2</sup>ビューア」）のみおこないます。
- fi-5110EOX をご使用の場合、[読み取りモード]タブの[オプション]ボタンをクリックし、表示される[オプション]ダイアログボックスの「原稿の向きを自動的に補正します」のチェックを外しておくことを推奨します。



1. ScanSnap Monitor の設定画面を起動し、[アプリ選択]タブ内の[追加と削除]ボタンをクリックします。

[プログラムの追加と削除]ダイアログボックスが表示されます。

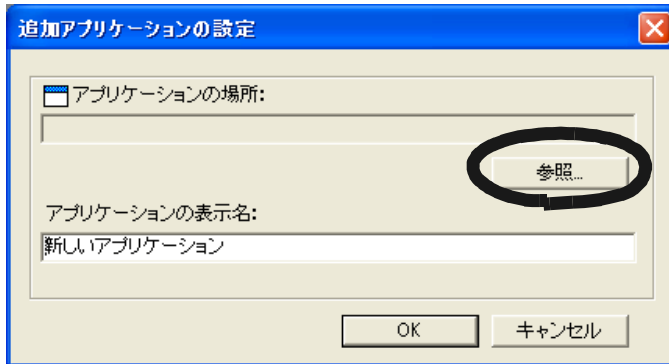
2. [追加]ボタンをクリックします。



[追加アプリケーションの設定]ダイアログボックスが表示されます。

# ScanSnap から原稿を読み取る ②

## 3. [参照] ボタンをクリックします。



[ 追加するアプリケーションの選択 ] ダイアログボックスが表示されます。

## 4. ビューア画面 (楽<sup>2</sup> ビューア) がインストールされているフォルダ内の「SSLaunch.exe」を設定して、[開く] ボタンをクリックします。

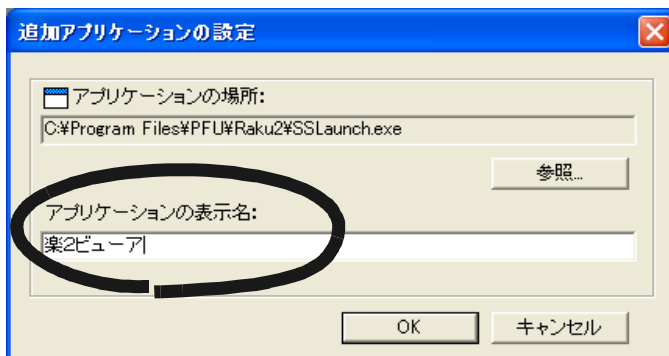
例) C:\Program Files\PFU\Raku2\SSLaunch.exe

楽<sup>2</sup> ライブラリのショートカットアイコンを設定しないでください。

[ 追加アプリケーションの設定 ] ダイアログボックスの

「アプリケーションの場所」に、設定内容が表示されます。

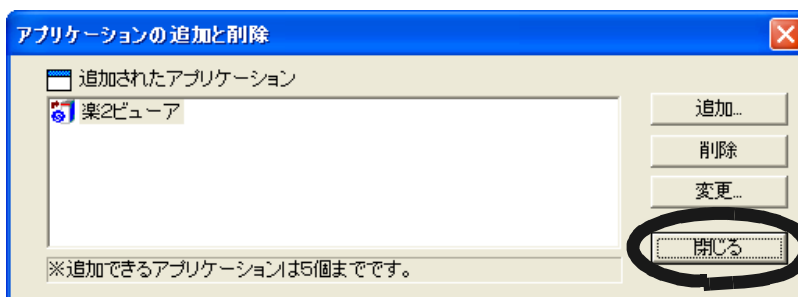
## 5. 「アプリケーションの表示名」で、手順「4.」で設定した「SSLaunch.exe」に対応させる表示名を、分かりやすい名称に変更します。



## 6. [OK] ボタンをクリックします。

[ プログラムの追加と削除 ] ダイアログボックスに、設定内容が表示されます。

## 7. [閉じる] ボタンをクリックします。



# ScanSnap から原稿を読み取る ③

8. [アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択」で、手順「5.」で設定した表示名を選択して、[OK] ボタンをクリックします。



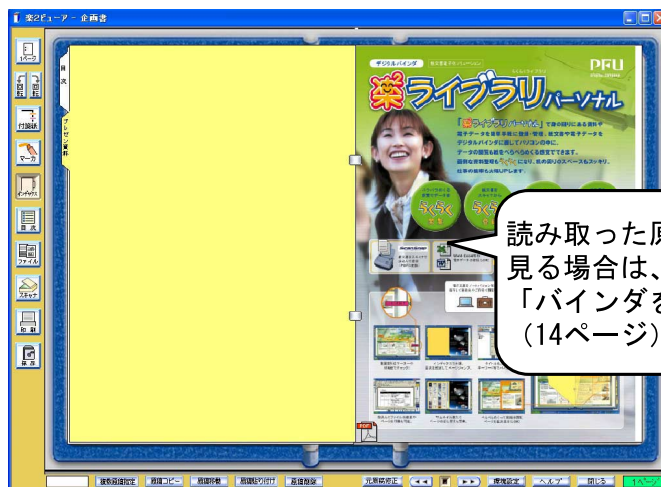
次に、読み取り操作をおこないます。

## 読み取り操作をおこなう



1. 9 ページで作成したバイнда（企画書）をダブルクリックして、ビューア画面を表示します。
2. ScanSnap に原稿をセットします。
3. ビューア画面が最前面に表示された状態で、ScanSnap の読み取りボタンを押します。

読み取りが実行され、原稿がバイндаに追加されます。





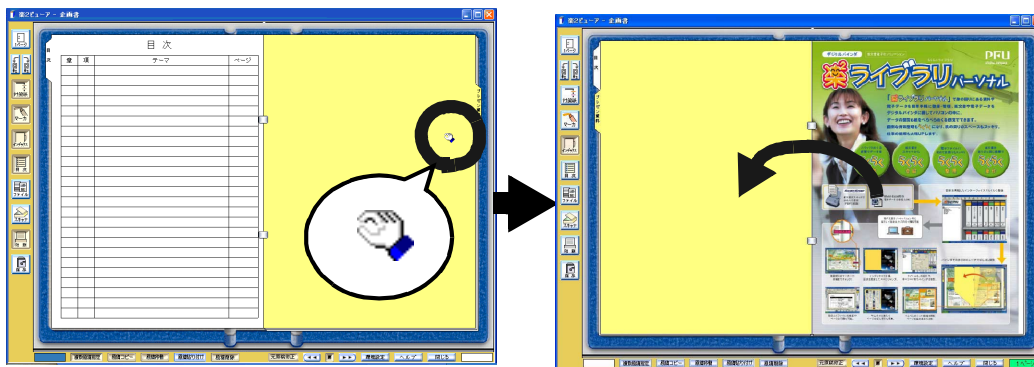
続けて別の原稿をスキャンする場合、手順「2.」～手順「3.」を繰り返します。この場合、現在表示されているページの前にデータが追加されます。

# バインダを閲覧する

バインダに格納したデータを閲覧します。



1. ページの左端または右端にマウスポインタを移動し、マウスポインタがまたはになったときにクリックします。ページがめくられます。





連続して自動でページをめくることができます。  
詳細は「ユーザーズガイド」を参照してください。

次のステップに進みましょう！

## 楽<sup>2</sup>ライブラリを終了する

楽<sup>2</sup>ライブラリを終了します。



1. ビューア画面の  をクリックします。  
バインダ管理画面に戻ります。
2. バインダ管理画面の  をクリックします。  
楽<sup>2</sup>ライブラリが終了します。

これで、楽<sup>2</sup>ライブラリの基本操作は終了です！

楽<sup>2</sup>ライブラリでは、ここで紹介したもの以外にも、便利な機能がたくさんあります。

詳細は「ユーザーズガイド」またはヘルプを参照してください。

# 困ったときには

楽<sup>2</sup>ライブラリの操作中にトラブルが発生した場合の対処方法について説明します。

楽<sup>2</sup>ビューア（ビューア画面）をインストールしたときに、「ドライバのインストールに失敗しました。」のメッセージが表示される。  
また、画像形式以外のファイル取り込みができない。  
（Windows<sup>®</sup> XP、Windows<sup>®</sup> 2000 Professional の場合のみ）

以下の手順で「Raku2 ImageWriter」をインストールしてください  
（オペレーティングシステムによって、ボタン名や選択項目名が異なります）

1. コンピュータを再起動します。
2. [スタート]メニューから[コントロールパネル] - [プリンタとFAX]を選択し、[プリンタの追加]をクリックします。  
プリンタの追加ウィザード画面が表示されます。
3. 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。
4. 「プリンタポートの選択」の画面で「次のポートを使用」を選択し、ポートのリストから「LPT1 : (推奨プリンタポート)」または「Raku2Port」を選択します。
5. [次へ]ボタンをクリックします。
6. 「プリンタソフトウェアのインストール」の画面で、[ディスクを使用]ボタンをクリックし、**CD-ROM** ドライブの「RkImageWriter」フォルダ内の「RkImageWriter.inf」を選択します。
7. ウィザード画面に従って、操作を進めます。
8. ハードウェアのインストール画面が表示されたら、[続行]ボタンをクリックします。

これで、プリンタに「Raku2 ImageWriter」が追加されます。

ファイルの取り込み時、正常にデータが取り込まれない。

対象ファイルを作成したアプリケーションが起動されています。  
アプリケーションを終了してからファイル取り込みしてください。

ファイルの取り込みに時間がかかる

ビューア画面で、次のいずれかの対処をしてください。

- [動作環境の設定] ダイアログボックスの[入力設定] タブの「解像度」を、低く設定してください（推奨値は 200dpi です）。
- [動作環境の設定] ダイアログボックスの[入力設定] タブの「色数」を、「モノクロ」にしてください。

その他の困ったことについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。



a Fujitsu company

---

## 楽<sup>2</sup>ライブラリ スタートアップガイド

P2WW-1811-01

発行日 2004年6月

発行責任 株式会社PFU

Printed in JAPAN

---

本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。  
本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の  
権利の侵害については、当社はその責任を負いません。  
無断転載を禁じます。